

令和5年産レンゲ減減栽培研究会「夢つくし」 (5月16日 播種) 栽培 暦
(6月 9日 田植え)

北九州普及指導センター
J A 北 九

月	5月				6月			7月			8月			9月					
旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
水管理	浅水 間断かん水 間断かん水 浅水湛水 間断かん水 落水																		
生育ステージ	5/16頃 播 種 1箱当り 150g播き (催芽粃) 6/9頃 田 植 6/9頃 50株／坪 3〜4本／株 -35日 -30日 -25日 -20日 -10日 0 有効分けつ終期 幼穂形成期 8/10頃 出 穂 穂 揃 期 期 刈 取 成熟期 9/12頃																		
管理のポイント	● レンゲ鋤き込み ● 種子消毒 (温湯消毒) 60℃ 10分 基 肥 有機特栽米基肥 0 1 7 号 0〜60kg (10a当たり) 基肥一発 (一発肥料) 有機エムコート 2 5 6 号 40〜60kg (10a当たり) 又は 有機特栽米基肥 中干し * 溝切をして、根の活力維持と倒伏防止をめざす * 浅水管理でスクミリンゴガイの食害を抑える * 除草剤散布 * 深植をしない 穂 肥 有機特栽米追肥 0 4 7 号 0〜30kg (10a当たり) 最も水が必要な時期 夢つくしの生育量・葉色に応じて調整 収穫後の耕起 (ヒメトビウンカ対策) * 落水はなるべく遅くする 土づくり 堆肥投入 土壌改良材の施用																		
病害虫	ばか苗病 いもち病 ごま葉枯病 シンガレセンチュウ 苗立枯病 イネミズゾウムシ ウンカ類 レンゲの生育量に応じて調整 スクミリンゴガイ (ジャンボタニシ) カウヘンメンシカ類 穂首枯いもち病 《注意点》 ☆ 出穂期以降はカメムシによる斑点米発生予防の重要な時期です。 ☆ 早めの畦畔雑草の刈取・防除実施を心掛けましょう。																		
防除農薬	● 種子消毒 温湯消毒 (必須要件) カスミン液剤 (必要に応じて) タチガレン液剤 (必要に応じて) 重要 防人箱粒剤 フルスロットル箱粒剤 (左記2剤のいずれか使用) 除草剤 ガンガン豆つぶ250 (左記3剤のいずれか使用) スクミンベイト3 スクミノン (必要に応じていずれか使用) 中後期除草剤 ワイドアタックSC (左記3剤のいずれか使用) バサグラン液剤 クリンチャー1キロ粒剤 (必要に応じていずれか使用) 粒剤 ゴウケツモンスター 又は 粉剤 ブラシントレバリダ 又は 液剤 フロアブル エクシード ヘリ防除 フロアブル 又は エクシード * 出穂後の畦畔除草はしない 本田防除② アルバリン粉剤DL アルバリン顆粒水溶剤 スタークル豆つぶ アルバリン・スタークル剤はミツバチへの影響が懸念されますので、散布時期・時間帯には十分注意を願います。 散布時期：出穂前又は出穂10日頃以降 散布時間帯：稲の花が咲く午前には避けて午後から散布する。 ● 農薬 (除草剤、殺虫殺菌剤) 成分数の合計は10成分迄です。使用にあたっては十分注意してください。																		
成分数		①	①		③	④		②	②	②		①	①			①	①	①	左の成分数の合計が10成分以下